



FC琉球

沖縄「REVIVE-再興」プロジェクト 1/2



Story

沖縄市を中心とする沖縄県全県をホームタウンとするFC琉球はクラブ創設時の2003年より地域密着型のクラブを目指して歩みを進め、「沖縄を愛し、沖縄に愛される」という理念のもと、ホームタウン活動に取り組んでおります。コロナ禍で多大な影響を受けている観光立県沖縄の子供たちにスポーツの楽しさや夢を持つ楽しさを感じてもらい、また日頃から支えてくださっている地域のみなさまへの恩返しのひとつとして、離島を含む沖縄県内の全小学校266校に「沖縄『REVIVE-再興』プロジェクト」と題して、FC琉球×sfidaオリジナルのサッカーボール4個ずつ計1064個を寄贈いたしました。いくつかの小学校ではありますが、小野伸二選手や富所悠選手、FC琉球公式マスコットのジンバーニョなどが直接小学校にお届けしました。ホームスタジアムであるタピック

県総ひやごんスタジアムの近隣にある沖縄市立比屋根小学校を訪問した小野伸二選手は、寄贈したボールでリフティングを披露し、サプライズでサッカーをしている児童とリフティング交換も行い、会場から大きな拍手が鳴り響きました。また直接ボールを受け取った代表の生徒たちは目を輝かせていました。また、プロジェクト実施報告ため沖縄県教育長を表敬訪問し、「厳しい学習環境にあるなか、ボールの寄付は子供たちにとって大きな励みとなるので本当に感謝している」とのお言葉もいただきました。今回のオリジナルサッカーボール寄贈を通じて、沖縄の未来を担う子供たちにスポーツやFC琉球を身近に感じてもらうきっかけとなり、コロナ禍で明るいニュースの少ない中でもボールを通じて沖縄の子供たちの日々がより楽しくなることを願っています。

活動詳細情報はこちら



<http://fcryukyu.com/news/25820/>

<http://fcryukyu.com/news/25373/>



FC琉球

沖縄「REVIVE-再興」プロジェクト 2/2



活動場所

沖縄県内全小学校

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

企業、学校、行政

協働者名

株式会社ターミナル、琉球通運株式会社、株式会社SARCLE、株式会社イミオ

補足

小野伸二選手は「沖縄に来て一番うれしいと思った瞬間でした。」とコメントしています。

